

08 双葉八町村に春を呼ぶ！ 広野わいわいプロジェクト

(福島県双葉郡広野町)

～広野サステナブルコミュニティ推進協議会～

H27年先導モデル事業
報告概要

取組全体の目的・概要: 町民の帰還が半数にとどまる広野町において、地域主体の形成及び町民帰還の促進を目的とし、イベントや植樹、綿・果樹の6次化などに着手することで、広野町に賑わいと仕事(なりわい)を創出し、双葉八町村復興の加速を目指すプロジェクトである。

取組の先導性: 震災直後に緊急時避難準備区域に指定されていた広野町が、賑わいを取り戻し、住民の帰還を促すために、定期イベント、森づくりを通じた首都圏との交流イベントを実施し、地元特産品の商品開発を活用する点に先導性がある。

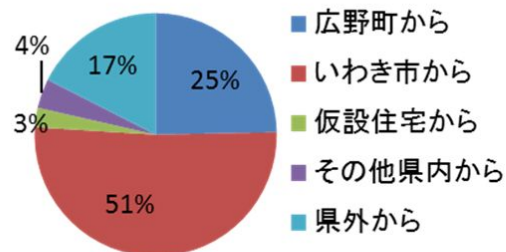
主な実施取組の内容

取組①「広野パークフェス」

■平成27年8月30日、10月4日、12月13日にニツ沼総合運動公園及び広野小学校駐車場にてパークフェスを実施。

■出展店舗数合計38店舗、来場者数合計約2,500人を達成。

アンケート結果:全3回の参加者の割合



取組②「プレゼントツリーin広野」

■平成28年1月14日 広野町・福島県・ひろの防災緑地サポーターズクラブ・認定NPO法人環境リレーションズ研究所の4者間で10年間の「ひろの防災緑地活動協定書」を調印し、Present Tree in ひろのが始動。

■3月5日の福島県主催の植樹祭にて500本、6日の「Present Tree in ひろの 第一回森の交流イベント」にて2,000本の植樹を実施。後者では首都圏からの70名を含め総参加者数は約130名。



4者協定の様子



第一回森の交流イベント

取組③「女性の手仕事づくり」

■平成27年7月11日、9月12日、11月22日及び、平成28年2月1日、2月16日に商品開発に関するワークショップ計5回開催。

■「オーガニックコットン手紡ぎセット」「ふくしまオーリーブキャンドル」を開発。某企業の社内マルシェや、㈱さとゆめラボショップにて試販を実施。

オーガニック
コットン
手紡ぎセット



ふくしま
オーリーブ
キャンドル

得られた成果

取組①: 初回は周知不足で参加者が200人であったが、周知方法等を改善し750人(第2回)、1,500人(第3回)を集客。今後の継続に向けた意見収集も実施できた。

取組②: 防災緑地の活用法の一つとして、現地関係者にプレゼントツリーを採用頂き、植樹祭・森の交流イベントを通じて2,500本の苗木を当該エリアに植樹した。

取組③: 地元の素材を使った商品開発を検討し、有力な候補の中からオーリーブの剪定枝を使った「スピンドル」、オーリーブを使った「キャンドル」の2つを商品化した。

今後に向けた課題・活動の見通し

取組①: 地域性(テーマ・参加者数)が不足している。次年度は同イベントを年間4回開催。運営資金は補助金、クラウドファンディングや企業協賛を模索する。

取組②: 今後防災緑地を通じて地元と首都圏との継続的な交流を生み出す必要があるため、交流イベントを継続する。また里親の募集も継続していく。

取組③: 試販品に対するフィードバックをもとに商品の改善、及び今年度は見送ったいくつかの素材を用いて新たな商品開発を行っていく。